

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	24-403	佐賀県医療センター好生館 角南隆史 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 松下幸生
題名 (原題/訳)		
Alcohol Use Disorder Treatment: Problems and Solutions アルコール使用障害の治療：問題と解決策		
執筆者		
George F Koob		
掲載誌		
Annu Rev Pharmacol Toxicol. 2024 Jan 23:64:255-275. doi: 10.1146/annurev-pharmtox-031323-115847.		
キーワード		PMID
アルコール使用障害、治療ギャップ、解決策、治療薬開発		38261428
要旨		
<p>アルコール使用障害 (AUD) は、2,900 万人以上の個人を苦しめ、米国では年間 14 万人以上の死者を出している。AUD の概念的な枠組みには、3 段階のサイクル、すなわち、酩酊/中毒、離脱/否定的感情、そして先入観/期待というものがあり、治療に関する AUD の異質性を探求するための出発点となる。効果的な行動療法や 米国食品医薬品局 (FDA) 認可の薬物療法は利用可能であるが、十分に活用されていないため、大きな治療ギャップを生じている。本総説では、この治療ギャップを埋めるためにアルコール領域が直面する課題を概説し、AUD 治療薬の承認基準の拡大、スクリーニング、短期介入、治療への紹介の増加、スティグマへの対処、ヒューリスティックな回復の定義の導入、早期治療への参加、アルコール乱用に関連する課題についての医療従事者と一般市民への教育などの解決策を提示する。さらに、本総説は、AUD における機能障害の領域と AUD を媒介する神経生物学を概説する依存症の 3 段階モデルを活用することにより、AUD の治療薬開発の潜在的標的を広げることにより焦点を当てている。</p>		